

PD
ナース
研修会オンライン
(ライブ)
講演

2021年4月17日(土)

参加費 3,000円 申込締切 2021年4月6日(火)

申込方法 MDSJホームページ (<http://mdsj.umin.jp/>)
事前申込ページよりお申し込み下さい。

・日本難病看護学会認定難病看護師のポイントを取得できます。

パーキンソン病は神経変性疾患の中でアルツハイマー病に次いで多い病気です。また、人口の高齢化に伴い患者さんの数はどんどん増えてきております。一口にパーキンソン病といっても、パーキンソン症状をきたす病気は他にもあります。パーキンソン病とパーキンソン病もどき（パーキンソン症候群）の鑑別は、その後の治療、ケアにも影響を及ぼすので大変重要です。皆さんは正しく区別できているでしょうか？

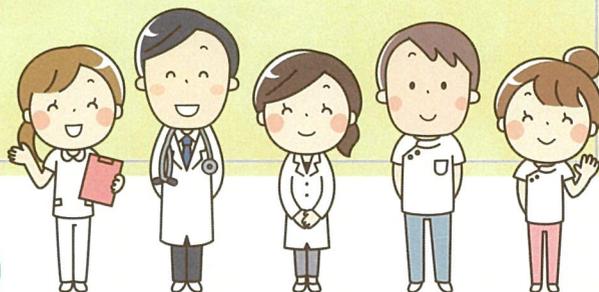
パーキンソン病治療薬の種類は多く、神経変性疾患治療薬の中では最多です。しかし、パーキンソン病も進行し内服治療も長期になるとウェアリング・オフ現象やジスキネジアなどの問題症状が見られるようになり、また、認知機能低下、幻覚、血圧変動、頻尿、疼痛などの非運動症状も目立ってきます。内服治療でコントロールが難しい患者さんに対しては、脳深部刺激療法（DBS）やデュオドーパなど機器（デバイス）を用いた治療も行われています。しかし、患者さんのQOL、ADLの維持、向上のためにはパーキンソン病治療薬、デバイス補助療法だけでは不十分で、リハビリ、ケアをうまく組み合わせた多職種による包括的医療が重要となります。そのためにはパーキンソン病に関して深い知識を有し、治療、ケアに精通した専門看護師（PDナース）が必要です。本研修会の目的は、参加者にパーキンソン病に対する知識、理解を深めてもらい、PDナースを養成することにあります。

本来ならば参加者の皆さんが会場に集まり、テーブルディスカッションなどによりお互いの交流を深めてもらいたいところですが、新型コロナウイルス感染の収束の見通しが見えないため、今回はオンライン講演としました。

松山から配信致しますので、多数の方の参加をお待ちしております。

オーガナイザー 永井将弘

(愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター)



第18回 PDナース研修会プログラム

13:30 ~ 13:35	開会の挨拶	永井 将弘	愛媛大学 臨床研究支援センター
第1部	パーキンソン病についての基本知識 (共催: 武田薬品工業株式会社)	座長 ・矢部 勇人	済生会松山病院 脳神経内科
13:35 ~ 14:05	パーキンソン病ナースとは？	演者 ・野元 正弘	済生会今治病院 脳神経内科
14:05 ~ 14:35	パーキンソン病とパーキンソン症候群の違い	演者 ・多田 聡	愛媛大学 臨床薬理神経内科
14:35 ~ 15:05	進行期パーキンソン病の問題点	演者 ・永井 将弘	愛媛大学 臨床研究支援センター
15:05 ~ 15:15	休憩		
第2部	デバイスを用いたパーキンソン病治療 (共催: アuzzi合同会社)	座長 ・野元 正弘	済生会今治病院 脳神経内科
15:15 ~ 15:45	脳深部刺激療法 (DBS) とデュオドーパ治療 (LCIG)	演者 ・矢部 勇人	済生会松山病院 脳神経内科
15:45 ~ 16:15	デュオドーパ治療におけるトラブル事例と対処法	演者 ・安藤 利奈	愛媛大学 臨床薬理神経内科
16:15 ~ 16:25	休憩		
第3部	パーキンソン病診療における多職種連携	座長 ・永井 将弘	愛媛大学 臨床研究支援センター
16:25 ~ 16:40	パーキンソン病診療における外来ナースの役割	演者 ・西村 紀子	松山ベテル病院 看護部
16:40 ~ 16:55	パーキンソン病診療における病棟ナースの役割	演者 ・大西佳代子	愛媛大学附属病院 看護部
16:55 ~ 17:10	パーキンソン病診療におけるリハビリの重要性	演者 ・石川 王泰	片木脳神経外科 リハビリテーション科
17:10 ~ 17:25	パーキンソン病診療における難病コーディネーターの役割	演者 ・山西 佳恵	愛媛県難病医療コーディネーター
17:25 ~ 17:30	閉会の挨拶	永井 将弘	愛媛大学 臨床研究支援センター